

議会だより

ひだか

第175号

令和5年10月25日



4年ぶりの秋祭り (志賀・比井)



<u>防災力パワーアップ事業の活用</u>	令和4年度決算	2～3
<u>がん患者医療用補整具に補助</u>	補正予算	4
<u>町会議員の請負が可能に</u>	条例制定	5～8
<u>災害見舞金制度創設</u>	一般質問	6～9

令和4年度決算を認定

一般会計歳出決算	48億8,296万円
特別会計歳出決算	24億2,852万円
国民健康保険特別会計歳出決算	9億5,236万円
下水道事業特別会計歳出決算	3億9,693万円
介護保険特別会計歳出決算	8億7,631万円
後期高齢者医療特別会計歳出決算	2億 291万円

第3回定例会は9月11日から22日まで12日間の会期で開催した。

今定例会では、令和4年度一般会計、特別会計、水道事業会計の決算を認定した。

また、令和5年度補正予算及び条例等議案8件、発議2件、報告1件が提案され、慎重審議の結果、原案の通り可決したほか、人権擁護委員候補者の推薦に関する答申を行った。

令和4年度決算質疑

ふるさと納税

寄付額（ふるさと納税額）	1億5,347万円
返礼品費	4,810万円
運営費等（送料・手数料等）	5,075万円



返礼品に選ばれるのは大半が柑橘系

和歌山防災力パワーアップ事業

固 和歌山防災力パワーアップ事業の決算額が予算の半分となっている。もっと活用するべきでは。

総務課長 令和4年度では家具転倒防止設置事業・感震ブレーカーの設置事業・ブロック塀等耐震対策事業を実施した。町の広報誌で紹介しているが、今後は自主防災会、区長会、ZTVなどを利用して周知に努めたい。

学校支援員

固 学校支援員は必要人数が確保されたのか。

教育課長 確保に努めているが、苦慮しているのが実情である。

松くい虫防除委託料

固 松くい虫防除委託料が増額となった説明を。

産業建設課長 産湯地区で、防風林である松3本が松くい虫により枯れてしまったため、他への影響を考えて伐倒駆除を行ったことによる。



松くい虫の被害に遭い枯れた松

特産品開発補助金

問 特産品開発補助金の内容は。

企画まちづくり課長 みちしお亭のなた豆アイスを開発するために補助したものを。



なた豆を使ったアイスクリームを開発

観光推進戦略プロジェクト

問 観光推進戦略プロジェクト協議会補助金の説明を。

企画まちづくり課長 ①クエのまちひだかシティプロモーション事業 ②きんちゃくサバプロモーション事業 ③海外観光客誘致事業 これら3つの事業に係る経費で、それぞれ約200万円、約110万円、約140万円の合計450万円。

クエのまちひだかシティプロモーション事業ではテレビ和歌山、BSよしもとで取り上げてもらったり、愛知県や奈良県など県外のメディアを訪

問して、クエ鍋のPRを行った。

また、きんちゃくサバプロモーション事業では、名古屋城で開かれる東海和歌山県人会や、美浜町の夕暮れ市などにさばコロッケを出品した。

海外観光客誘致事業では、県の観光交流課と協賛しながらベトナムの旅行会社4社対象としたPRツアーを実施し、フェイスブック等のSNSを活用した広報を行った。



東海和歌山県人会でさばコロッケをPR

監査委員の意見

歳入

町税において1690万3千円の収入増であるが、依然として依存財源による財政事情に変わりはなく、経常収支比率が高い状態が続くことが懸念される。税・料における収入未済額の一部が長期化・固定化しており、その発生・増加に十分留意し、引き続き最大限の徴収努力を望むものである。

歳出

財政調整基金においては、対前年度末残高で8300万5千円の増、地方債においては、対前年度末残高で2億921万1千円の減となっているが、今後も増加傾向である公共施設の修繕及び整備、御坊広域行政事務組合の施設整備にかかる負担金などによる支出の増加も見込まれることから、事務事業の見直しなどを含め、より一層の健全財政の堅持を心がけていただきたい。

温泉館の入館者数については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した利用促進事業割引が終了したことも影響し、減少傾向が続いている。引き続き経営改善を求めるものである。

介護保険制度が介護を社会全体で支えあつ仕組みであることを鑑み、給付と負担のバランスを考慮した予算計上を望むものである。

下水道事業においては、令和5年度より地方公営企業法を適用したことに伴い、3月末をもって打ち切り決算されているため、当該年度の実質的な収支は分かりづらいところはあるが、公営企業として一層の経営努力を行っていただきたい。

令和5年度補正予算

がん患者医療用補整具

問 がん患者医療用補整具購入費助成金の説明を。

子育て福祉健康課長 標準的な補整具購入にかかる個人負担が無料となるよう、町が購入費に補助を行うもの。

補整具別の上限額は医療用ウィッグと人工乳房、人工乳頭が4万円、補整乳房と補整下着が2万円。

遺跡出土遺物等整理支援

問 荊木遺跡出土遺物等整理支援業務委託料について説明を。

教育課長 令和3年度に荊木遺跡内において、宅地造成工事に伴う現地調査で出土した遺跡物を整理し、調査報告書を作成するための費用。

県の文化財センターへの委託料と、印刷製本費を併せて94万2千円を支出する。

ただし、費用の全額を土地の所有者に負担してもらうため、同額を町へ納めてもらった。

テントサウナ

問 イベント関係費が減額になる説明を。

企画まちづくり課長 当初予算では町がテントサウナを購入し、事業主体となってイベントなどを実施する予定であったが、民間事業者が県の補助金を活用し、テントサウナのレンタル事業をレンタルサイクルと併せて町内で展開したため、関連する予算を減額するもの。



昨年、産湯で実施したテントサウナ

◆◆臨時会◆◆

令和5年8月9日臨時会を開催し、工事請負契約の締結2件、財産の取得、令和5年度一般会計補正予算を審議、可決した。

・工事請負契約の締結

① 日高町庁舎空調設備更新工事

契約の相手先	紀南電設株式会社
契約金額	5764万円
落札率	78・29%
工期	令和6年3月6日
庁舎全般の空調設備を更新する工事	

② 比井崎コミュニティ公園整備工事

契約の相手先	株式会社中村建設
契約金額	9856万円
落札率	95・85%
工期	令和6年3月31日
旧比井小学校の運動場の跡地利用	

・財産の取得

消防ポンプ車1台購入

契約の相手先	有限会社ボウキョウ
契約金額	2148万5100円
落札率	95・97%
納期	令和6年3月29日

・一般会計補正予算

医療連携協力業務委託で79万2千円の増額など



旧比井小学校の運動場を公園に



空調の故障で扇風機を使用

条例制定

日高町議会議員の請負の状況の公表に関する条例

地方自治法の改正により、議会議員の請負について規制の明確化と緩和がされ、令和5年3月より、年間300万円まで請負が可能となった。また、改正案審議経過を踏まえ、総務大臣より「議員個人による請負の状況の透明性を確保するための取組を併せて行うことが適当である。」との助言がされた。

日高町議会として、当町議会議員が、日高町との間で請負契約を結んだ場合、その内容を公表することを定める。

公表の方法

「町との契約の内容」「契約金額」「1年間に支払いを受けた金額」について、翌年6月1日～30日の間に議長に報告し、議長が一覧を作成し、公表する。

人権擁護委員



上谷 眞由美 氏

人権擁護委員の推薦について、適任と答申した。

選挙管理委員

10月8日の任期満了にともない、次の方々新しい選挙管理委員に決まりました。

- 堤 泰隆 氏 (池田)
- 小宮 正昭 氏 (高家)
- 羽山 嘉一 氏 (久志)
- 坂本 佳文 氏 (比井)

意見書

防災・減災、国土強靱化等に資する
社会資本整備の推進を求める意見書

本年6月2日、本町及び和歌山県北部を中心とした地域が、記録的豪雨のため大きな浸水被害を受けた。近年では、全国どこでも激甚災害に見舞われてもおかしくない状況である。今後、起こりうる南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えることも急務となっている。

本町においても、津波避難施設の整備や危険箇所への事前対策を推進してきたが、未だ道半ばであり、住民の命と財産を守るためより一層の対策が必要である。国において特段の措置を講じられるよう強く要望する。



命と財産を守る予算措置を

右記内容の意見書を、全議員の賛成で国に対して送った。



すぎうら けんた 議員
杉浦 研太

体育館にエアコン設備を 町長 まずは武道館から検討



早期にエアコン設置を望む武道館

杉浦 教育環境の整備や防災力強化の観点から、体育館へのエアコン設置は、早期に検討すべき課題であると考える。

導入に係る課題や町の考えは。

町長 各校体育館は大規模災害時のみの開設を考慮しており、閉鎖についても早めの閉鎖が想定される。

通常、避難所を開設する場合は、中央公民館・武道館・小浦地区公民館・ひだか博愛園みちしおを開設し

杉浦 まずは武道館からとのことだが、避難所の開設頻度等を考えると、武道館への設置も早急に整備すべき。

普段から柔道や剣道でも使うし、災害時以外にも使う機会が多い。財源はどうか。

町長 財源については、緊急防災減災事

ており、武道館を除けば全てエアコン設備が整っている現状なので、体育館にエアコン設備を整備することは防災上優先度が低いと考えており、避難所のエアコン設備の整備であれば、まずは武道館からと考えているが、費用的なものも含め検討していく。

教育長 夏の間は体育館の使用を減らし、プール授業を行ったり、体育の授業を他の教科の授業に変更したりするなどの対策を行っている。

業債を活用することになると思う。

杉浦 緊急防災減災事業債を使うとなると、期限が令和7年度までとなっているので早期の検討を望む。

また武道館に設置が進んだとして、それ以降、体育館にも順次設置する考えはあるか。

町長 各小中学校となると相当な財源が要るので、優先順位を決めて、取り組んでいけたらと考えている。

杉浦 普通教室のエアコン設置は当たり前になったと言える。「あつたらいい」と思っていたものが「なくてはならない」となっている。体育館も、数年後そうになっているかもしれない。早い段階で「なくてはならない」と判断されることを望むと同時に、まずは武道館からとのことなので、課題はあると思うが、早急に進めることを要望する。

町の周年事業

杉浦 来年は、町政施行70周年、各小学校は開校150周年を迎える。記念行事の計画は。

町長 来年度の予算化に向け検討中であり、町民皆様に喜んで頂ける70周年になるよう取り組んでいく。

教育長 学校の意向としては、150周年をお祝いできるものを考えたいとのことなので、教育委員会は学校の意向を尊重しながら支援できることを行っていきたい。

杉浦 卒業生や在校生の思い出になるような150周年を期待するとともに、町民の方が喜ぶ、記憶に残る70周年になることを望む。



やまなか まさつぐ
山中 雅嗣 議員



スマートフォン・タブレットアプリの導入を 町長 早期に実施していきたい

■ 日高町の主な情報提供の手段は、防災行政無線スピーカーと戸別受信機である。

戸別受信機のない家庭では、雨音が激しくて防災行政無線スピーカーの放送が聞こえない事例がある。

スマートフォンやタブレットのない家庭には、戸別受信機を使用してもらい、日高町にも防災・行政アプリを導入してはどうか。

■ 戸別受信機、メール配信、X（旧ツイッター）の他、NHK、テレビ和歌山、ZTV、防災和歌山メール、和歌山県防災ナビ等と連動している。

アプリの導入については、行政・防災情報を確実・迅速に発信できる点で、効果的と考えている。

■ 今、個人的に他町の防災・行政ナビを使用しているが、8月の台風時に通行止・解除情報、避難所開設・閉鎖情報などプッシュ通知され、平時でも町の催

し物、集団検診やゴミの日の通知など、情報提供ツールとして便利だと感じる。

導入・運用費用など、どの位掛かるのか。

■ 導入費用で約800万円から1千万円、年間の保守契約で約80万円程度である。

■ 今回提案するアプリは、防災以外でも情報共有、観光情報を発信し、暮らしを便利にし、感心の薄い若い方にも周知してもらうのにも繋がり、日高町ならではの魅力をも発信できるものとして必要ではないか。

■ 早急に検討を始め、緊急防災減災事業債を活用して、早期に実施していきたい。



独自アプリの導入を

ペットボトルの回収

■ リサイクル可能なペットボトルの回収について現在、回収箱設置場所としてAコープ日高店だけとなっている。

町としてもごみの削減と再資源化のため、町内に何カ所か回収箱設置場所がある方が良く考えるが、町長はどう感じているか。

■ 本町でも、循環型社会を目指すため、「日高町一般廃棄物処理基本計画」を策定している。

本計画の中においても、ごみの減量化とリサイクルを目的として、ペットボトルの拠点回収を推進しているところである。

本町としても、住民の利便性も考慮しながら、ワークステーションひだかや、御坊広域清掃センターとも協議・調整し

て、ペットボトルの回収拠点を町内に数カ所程度、設置できるよう前向きに取り組みたい。

■ リサイクル出来る物でも回収場所も少なく処理に困る物もある。

自治体でもリサイクル可能な資源を回収する取り組みは大切な事であり、これが町民の利便性、安全に繋がるのであれば、なおさら積極的に取り組んで貰いたい。



ペットボトル回収箱の増設を



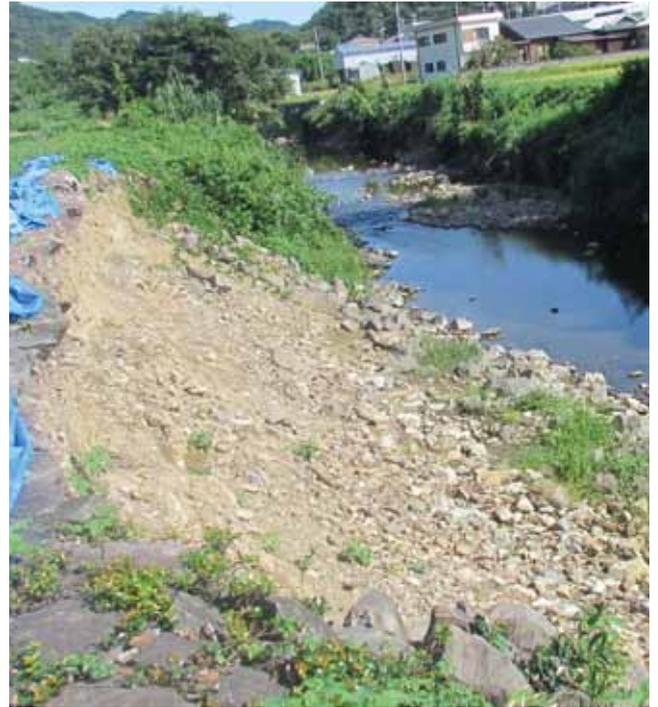
みやもと まさふみ
宮本 雅文 議員

早期の災害復旧を 町長 県に強く要望していく

宮本 6月2日の豪雨により甚大な被害が出たが、その対策工事と復旧工事はどうなっているのか。

町長 6月7日、日高振興局建設部に被災の状況と危険箇所について報告し、早期復旧と浚せつ及び樹木の伐採を要望した。さらに、6月28日には、県土整備部に要望書を提出した。

緊急対応として、河川内の樹木の伐採と浚せつを順次進めていただいている。県では9月定例会で予算



損壊した西川堤防

を確保し、湯水時期となる11月を目途に事業を進めるときいている。

宮本 西川堤防南方の損壊箇所は2日後に復旧していた。しかし、上流の内原小学校の向かいの堤防が3分の2程度も壊れているが手つかずの状態である。何故か。

町長 河川の水量が多く、工事に着手することがなかなか難しいとのことであった。災害が起こらないよう

土のうを積んで対応していただいている。

宮本 土のうを積んだのは8月である。その間、大雨の危険もあった。西川の堤防については、緊急性がないと県が判断したということか。

町長 町としては、早急に改修をいただけるよう要望している。県からは、優先してそこを改修するということを聞いている。

宮本 緊急の場合は手順を踏まなくとも復旧工事が出来るよう協定、システムを創ってはどうか。

町長 それを県と決めておくというのは難しい。その時の状況とか色々あるので、町としては県に強く要望していくしかない。

宮本 川に生えた大木や竹が被害の大きな要因の1つであると思うが、県に何も言わなかったのか。

町長 毎年要望し、順次、

対応してくれている。

宮本 水害が起これば困るのは町民である。河川の管理者が県であっても、そうならないようにするのが、町、自主防災会、区であり、連携することが大事だと思うがどうか。

町長 おっしゃる通りである。住民、町、県が管理をしていくことが大事である。今後、十分取り組んでいきたい。

宮本 志賀川のハザードマップは作らないのか。

総務課長 県の調査が終わり次第、作成していきたい。



氾濫した志賀川

にしおか かなこ
西岡 佳奈子 議員

住宅浸水被害に見舞金制度創設を 町長 6月被害にさかのぼり考えたい



6月2日の豪雨で多くの住宅が被害を受けた

西岡 6月2日の豪雨は、河川の氾濫や道路の冠水、土砂崩れ、家屋の浸水、農地の崩壊や土砂流入など、当町にも大きな被害をもたらした。被災状況、復旧状況、今後の予定は。

町長 県が管理する2級河川82カ所、町が管理する町道2カ所、河川7カ所、農地12カ所、農業用道路8カ所、農業用水路23カ所について、国の災害復旧事業として申請し、進めていく。国の災害事業にいたらなかった災害については、町としての小災害復旧事業で対応する。

西岡 床上浸水に対する県の見舞金として5千円支給の制度があるが、町として見舞金制度の創設を求める。

町長 現在、災害弔慰金の支給に関する条例があるが、これは、自然災害により死亡、もしくは障害を受けた人に対する支給、もしくは、災害援護資金の貸し付けと規定している。床上・床下浸水に対する見舞金制度はない。

6月の豪雨で、床下浸水62件、床上浸水19件の被害が発生した。

見舞金制度について検討したい。

西岡 お見舞いの気持ちを、少しでも金額的にあらわすことも大切なことだと考える。6月の災害に対しての支給も検討を。

町長 6月の災害時にも見舞金の支給を考えたが、公金支給の根拠がなかった。さかのぼってできるものであれば、考えていきたい。

保険証廃止に反対を

西岡 政府は来年秋に今の保険証廃止を決定している。

しかし、マイナ保険証の誤登録や医療機関窓口の読み取り機器の不具合、代理人による申請や利用など、多くの問題、課題がある。本来マイナンバーカードの取得は任意だが、カードの取得を強制する手段として、マイナ保険証への一本化が進められようとしている。

このまま進めば、個人情報に係わるトラブルがさらに拡大するのではないかと。保険証を廃止しないことを求められたい。

町長 保険証の廃止は国の施策であり、私の意見は控える。マイナンバーカードへ国民の不安がないよう、国に対して十分な対応をお願いしたいと考える。

— 他の一般質問 —
財政調整基金のあり方

委員会レポート

総務福祉常任委員会

住民票をコンビニで

7月27日に白浜町、8月17日に日高川町を訪問し、先進地である両町より住民票等のコンビニ交付について説明を受けた。



白浜町役場にて

議会広報特別委員会

読みやすく わかりやすい 議会だよりづくり

8月28日、町村議会広報研修会に参加し、「議会を身近にする広報紙づくり」について研修を受けた。



今回の研修を機に、議会だよりのレイアウトについて、大幅な変更を行いました。皆様のご意見をお寄せください。

産業教育常任委員会

農業・漁業 深刻な後継者不足

7月13日、日高町の農業・漁業の現状と課題について担当課から説明を受けた。

農業の現状と課題

- ◇長期にわたる米価の低迷
- ◇従事者の減少と高齢化、後継者不足
- ◇耕作放棄地の増加
- ◇肥料・燃料価格の高騰

漁業の現状と課題

- ◇漁獲量の減少・漁価の低迷
- ◇従事者の減少と高齢化、後継者不足
- ◇資材・燃料価格の高騰

以上の状況に対応するため取り組んでいる支援事業について説明を受けた。

旧比井小学校の利活用

8月9日、地域活性化の取り組みとして、旧比井小学校を利活用して行われている事業について、企画まちづくり課より説明を受けた。

現在、旧校舎を利用して、わさびの水耕栽培、カフェ「ひいのの」が運営されている。



旧教室を利用したわさび水耕栽培

編集後記

こよなく愛する庶民の味方、第三のビールも10月1日より値上げ。消費者物価指数の上昇は3%と言われているが、肌身には20〜30%に感じる。国の借金は1270兆円。返済は印刷機を回す以外に方法はないのか。更に円安が追い打ち、今後物価は益々上昇する。年金給料がそれ以上に上がれば有り難い。けど見込みなし。

せめて預金金利でもと思うがこれも駄目。地球温暖化による災害の甚大化、戦争等々、明るい材料はなし。

そんな中、先日の川中美幸の歌謡ショーでは皆さん大いに楽しいひと時を過ごされたのでは。美幸ちゃん「笑いましょ」と話された。

「笑う門には福来たる」笑いは健康の妙薬。皆さん大いに笑いましょ。

宮本 雅文